

議会広報特別委員会視察報告

視察先：宮城県岩沼市

参加者：小柳委員長・後藤副委員長・原田委員・藤井委員・力丸委員・渡邊
議会事務局 2 名

日 時：平成 21 年 9 月 29 日 13 時 30 分～15 時 30 分

<議会だより概要>

- ・ ページ数：12 ページ
- ・ 発行部数：16,900（人口 44,355）
- ・ 発行回数：年 4 回
- ・ 配布先：市内全世帯・県内各市町議会・姉妹都市・友好都市など
- ・ 印刷経費：一部 17 円 64 銭（太宰府市 5 円 60 銭）

<特徴>

- （恐らく）国内初のユニバーサルデザインフォント使用
- 一般質問について質問者が質問記事を作成し、担当委員が答弁を作成
- 市民の声を担当委員が取材し、掲載。傍聴者の声も掲載
- 表紙は子どもに関連する写真に限定（保育所や幼稚園との連携）
- 市内にある有力製紙メーカーの紙を使用するため、割高
- 一般質問を行った議員の顔写真を掲載（責任を持つ意味をこめて）
- 本年から特別委員会として活動（自由裁量の枠を広げる）

<本市での活用>

市民に読んで頂くという視点から考えると、市民の声を掲載することは有効な方法だと考える。岩沼市では担当委員の後援会など知古を当たっているが、その方法が妥当かどうかは検討課題。また、質問者の顔写真の掲載についても本市においても検討する価値はある。表紙の写真は、広報の顔であるため、子どもの写真の掲載する場合も、岩沼市のように幼稚園や保育所との連携も一慮すべきと思う。また、岩沼市も本市同様今年から特別委員会として活動を行っているが、独立した委員会として決定権が付与されたことを最大限に生かし、多賀城で実施されたような市民へのアンケートの実施などを含め、市民の方が読みたいと思う内容について委員会の中でさらに検討を重ねていかなければならないと感じた。

（文責：渡辺）